

子どもSOSだより

令和七年度 青少年健全育成標語 最優秀

やめまいよ
その一言で
救われる

さぬき南中学校 三年
堀 峯嘉さん

【選評】

地域で子どもたちの交通マナー違反や生活規範から逸脱した行動などを見かけても、一声かけるのは難しいものです。

「素直に聞いてくれないのではないだろうか」「逆恨みされないだろうか。」と、躊躇してしまいます。

しかし、この標語の「やめまいよ」の言葉のように、地域の情のある温かい言葉で呼びかけると素直に聞いてくれ、救われる子どもたちも増えるのではないのでしょうか！
声かけを迷っている大人たちの背中を押してくれる、素晴らしい標語です。

小学生の一日補導員

令和七年十月二十一日（火）に、小学生一日補導員活動が行われました。今年度は、長尾小学校の代表十名が、マルナカ長尾店で行いました。

児童たちは青色パトロールカーに交替で乗り込み、安全・安心なまちづくりのために地域の方や子どもたちができることを、心を込めて元気よく呼びかけました。子どもたちを励ましたり、啓発グッズを快く受け取ったりしてくれる方が多く、とても充実した啓発活動になりました。



また、八月五日（火）

には市内三中学校の生徒代表がザ・ビッグ寒川店で、十一月七日（金）には寒川高校の生徒代表が同じくザ・ビッグ寒川店で、同様の活動を行いました。参加していただいた児童・生徒・補導員の皆さん、ありがとうございました。

小学生の感想

○ 「この放送を聞いてくれた人の心にしっかりと残ってほしい」と思いながら、放送することができました。

○ 呼びかけをしているとき、自分も気をつけられないかな、と思うことが多々ありました。

○ チラシを渡した方から「ありがとう。」とやさしく声をかけてもらい、とてもうれしくなりました。

○ 参加してみて、万引きやはんざいをこれからだれにもやってもらいたくない、と思う活動でした。

子どもの緊急避難場所（子どもSOS）をお引き受けいただいている皆様方には、日頃大変お世話になり、ありがとうございます。今後とも、地域の安全安心のため、ご協力のほどよろしく願っています。

○ したことがない体験だったので、とても楽しかったです。

○ この活動をする事によって、相手も自分も気をつけようという気持ちを持って、持てるのではないかと感じました。

（小学生の感想文を一部抜粋要約）

子どもの見守りを

さぬき市内でも不審者による児童・生徒への声かけ、無断撮影など、不審な行動があつたとをたまたま。また、最近では夏季における危険な暑さが、登下校等における子どもたちの健康上の大きな課題となっており、不審者だけでなく様々な面から子どもの安全を守る必要があります。

子どもの見守りは、警察、学校、行政等だけではなく、地域の方の協力も重要です。子どもが危険な状態になっていたら、学校、警察、消防署（救急）等へ一報をお願いします。

第34号発行日
令和8年3月
発行者
さぬき市
少年育成センター



青パトでパトロール中

青色防犯パトロールカーがさぬき市内を巡回しています。登下校時や下校後、児童生徒の安全を見守ります。

さぬき市少年育成センターには、青色防犯パトロールカーが三台あります。この三台はさぬき警察署から、防犯のために青色警告灯の利用を許可されています。また、車を運転している者はパトロール実施の講習を受け、実施者証を携帯しています。今年度も「がんばれ！さぬきっこ」を流しながら巡回し、交通安全指導や下校指導も行っています。

地域の皆様も子どもたちが危ない場面に遭っていたら、一声かけていただけると幸いです。



不審者警戒中

【最近の通報より】

○ 高校生がバス停で男性から、「友達になってほしい。あなたの住所は？」と声をかけられた。

○ 小学生が下校中男性に声をかけられ、怖かったので相手にしないと、しばらく後をつけられた。

○ 中学生が春市に行っていたところ、無断で写真を撮られた。

子どもが助けを求めていたら110番

（さぬき警察署 087-894-0110）

子どもが皆様方にお世話になった場合は、状況を学校にご連絡ください。

子どもに関する悩み相談は少年育成センターへ
（月～金 8:30～17:00 0879-26-9976）